

JR総連青年協議会

第14回定期総会開催!!

2013年7月28～29日に、東京・晴海グランドホテルにおいてJR総連青年協議会第14回定期総会が開催され、JR総連青年協議会の昨1年のたたかひの総括と向こう1年のたたかう方針を決定しました。

JR総連青年協議会は、JR北海道労組、JR東労組、JR東海労、JR西労、JR貨物労組、システム労の青年部で構成し、当日は総勢で42名（貨物労組は13名）が結集しました。冒頭、高田青年協議会議長は議長挨拶

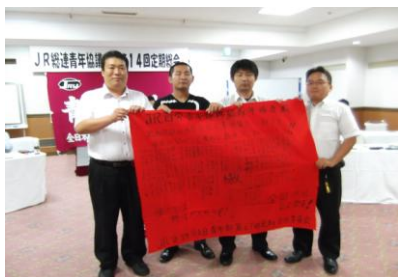


青年協議会「第14回定期総会」



で、「山岡けんじ氏を国政に送る事が出来なかった。今安倍政権は憲法改正の道を突き進んでいる。選挙をどうたたかったのか、それぞれがしっかりと総括し、憲法改正をさせない為に組織の担い手を作り、強化していかなければならない」「鉄道による事故が多発している。私たちは今こそ労働組合として、安全に関するチェック機能を果たすべきである。安全、生命、生活を守る為に闘っていこう」と挨拶がありました。また、

来賓のたしろかおる参議院議員から講演を頂き、現在の国政の状況や、『アベノミクス』の問題点、そしてJR貨物についても触れられ、再建に向けて真剣に取り組んでいく事など、私たちにとって非常に心強い一言を頂きました。質疑では22人から発言があり、共通するたたかひである選挙闘争や、JR北海道労組からは安全に向けてのたたかひや、JR東労組からは反弹圧のたたかひ、乗客による鉄道従事員に対する暴力問題。JR西労からは労働組合の大切さに対する発言。システム労からは超勤問題、レクリエーション、脱原発の取り組み。貨物労組からは賃金削減を絶対に許さずJR貨物の経営を正すたたかひや、平和を守る取り組みを報告しました。総会のまとめとして、JR北海道労組・竹中青年部長から、「参院選で山岡けんじ氏を国政に送れなかったのは非常に悔しい。



しかし、悔しがってばかりではいけない。3年後のたしろ選はもう始まっている。参院選の総括を具体的に行い、来たるたしろ選に向け全力で取り組んでいく」「今、労働条件や安全が脅かされている。私たちは労働組合として『労働の論理』を貫ぬき仲間と共に会社と闘っていく」と総括答弁を行い、最後に高田議長の団結ガンバロウで総会は大成功で終了しました